

ジャガイモ

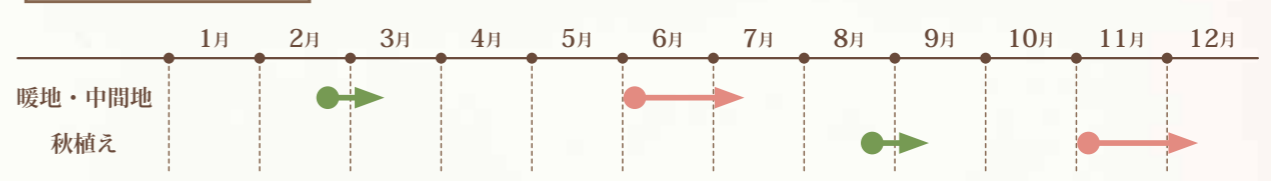


◇ 植物分類
ナス科

◇ 原産国
南アメリカ

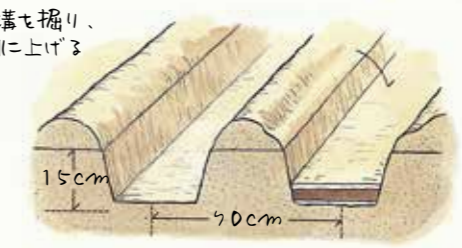
成育期間が3か月半で種イモの15倍も収穫できるので、デンプン質作物としては最も生産効率が高いと言われています。最近では煮物やサラダ用など特徴のある色彩豊かな品種が増え、品種選択の幅がたいへん広がっています。冷涼な気候を好み、15℃～20℃の気候で最も育ちます。ただ、霜に弱く、早植えして萌芽したものが晩霜にあうと地上部が枯死してしまうので注意しましょう。

栽培カレンダー



1 畑の準備

植付けの20日以上前に元肥を入れよく耕し、畝間70cm×高さ15cmの畝を作る。



元肥をスルホ7～8cm 土モじり

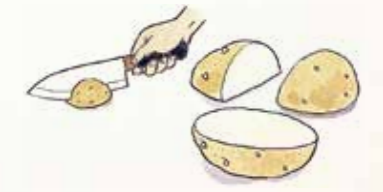
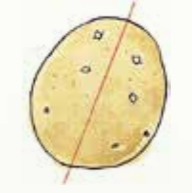
(畝の長さ1m当たり) 堆肥 3にぎり 化学肥料 大さじ4杯

2 種イモの準備

無病で充実した種イモを縦に切断する。40g以下の小さいイモは切断せずそのまま使う。それ以上のものは切断し、40g～60g程度に調整する。

先端に近い芽が優勢で早く伸びる

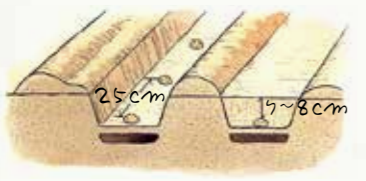
60～80gくらいの大まきなら2つに切り、さらに大まきものは3～4つに斬る。



もとの1まわりの芽は伸びが遅い

3 植え付け

切り口を下に向け、種イモに7～8cm覆土し、軽く鍬でおさえる。切り口を上になると断面に水がたまりやすくなり腐りやすい。



○ 良
切り口を下に向け

裏ワザ 切り口を上にして植える

植付け時に切り口を上になると、強い茎だけが地上に伸びてきます。科学的には証明されていませんが、病害虫に強く、茎葉が健全に育つため、おいしく育つと言われています。ただ、茎が淘汰されるので収量が減る場合があります。



4 芽かき

たくさん芽が伸びてくるので、勢いの良いものを2本残し他は取り除く。種イモを引き上げないように株元を押さえ、斜めの方向にかき取るとよい。



種イモを引き上げないように気をつける

5 追肥・土寄せ

草丈が20cm前後に生育したら、1株あたり大さじ1杯の化成肥料を施し土寄せをする。2週間後、同様の追肥と土寄せを行う。



畝に沿って肥料を施し、通路の土も株元へ4～5cmの厚さに寄せる

6 収穫

完全に肥大したころ鍬を入れて掘り起こす。晴天続きの時を選んで掘り起こし、表面を日陰で乾かしてから薄く並べて保管する。



○ 良



× 不良



積み上げると腐りやすい。とくに湿地のものは早く腐るので要注意

家庭菜園のおすすめ商品

『おいしいお米を作りましょう!!』

「とれ太郎」や「けい酸加里プレミアム34」などの珪酸質・鉄分を含む土壌改良材を使って、おいしいお米を作りましょう。

土壌改良材を使うとメリットがいっぱい!

- ・倒れにくく、健康的な稲ができます。
- ・食味が良くなり、おいしいお米が作れます。
- ・肥料の散布量が少なくなります。

詳しい種類や使用方法は、最寄りの営農経済センターにご相談ください。いつでもお待ちしております。

お問い合わせは、各営農経済センターまで!

土壌改良材の施肥は済みますか?



焼津営農経済センターのみなさん